

ナンバリング	B⑥02	科目名	卒業演習 「他者理解を試みる～当事者とかかわる・当事者になる～」		担当教員	大村 あかね	
ディプロマポリシーとの関連性	①・②・③・④		担当形態	単独			
テキスト	資料を適宜用意します。			単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期	後期
<b>授業概要</b> <b>■到達目標</b> 他者への想像力を持ち、当事者としての自分を語れる大人になっていくために、本授業では「当事者」というキーワードを立て、以下のことを目指します。 1. 様々な現場に赴き、そこに居る当事者の語りに謙虚に耳を傾け、その体験世界を知った上で自分の考えを表明することが出来る。 2. 自ら設定したテーマについて探求し、他者の探求していることに関心を持ち、プレゼンテーション、意見交換をすることが出来る。 3. フィールドワークを通して、様々な当事者の置かれている状況や、普段感じている事、考えていることを知り、他者理解の枠組みを広げる。  <b>■授業の概要</b> 学生が自ら関心を持った現場に、できれば継続して赴き、自らもそこでの活動に参加しながら、そこに居る人々の思いや考えに触れるフィールドワークをします。 学生の関心次第で、どのような形でフィールドワークを行うことになるかは変わってきますが、自らもその現場に赴いて、他者の気持ちになってみる経験をするを重視します。  <b>■授業計画</b> 第1回 オリエンテーション この授業のねらいについて 第2回 卒業レポートのテーマの明確化 研究計画 FWの希望話し合い 第3回 インタビューの基本について 第4回 フィールドワーク①準備 第5回 フィールドワーク①当事者とかかわる 第6回 フィールドワーク①ふりかえり 第7回 フィールドワーク②準備 第8回 フィールドワーク②当事者と関わる 第9回 フィールドワーク②ふりかえり 第10回 フィールドワーク③準備 第11回 フィールドワーク③当事者と関わる 第12回 フィールドワーク③ふりかえり 第13回 これまでのゼミ全体での取り組みのまとめ 第14回 これまでの個人の取り組みのまとめ 第15回 学びの成果発表会  <b>■準備学習</b> ・あらかじめ提示された参考資料は、読んで理解した上で臨むこと。 ・提示された課題に取り組み、期限までに提出すること。  <b>■評価方法</b> ・話し合いへの積極的な参加 — 20% ・フィールドワークふりかえりレポート — 20% ・フィールドワークへのとりくみ、グループ活動での協力姿勢 — 20% ・卒業レポート（提出は必須） — 40%							
参考文献	随時紹介します。			特記事項	・フィールドワークにかかる費用は自己負担となります。 ・卒業レポート、その他レポート等は、全てPCで作成すること。 【課題等へのフィードバック方法】 ・フィールドワークの事前事後学習にかんする提出物については、必要に応じてコメントを記入し、学生に返却します。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修			幼保			
実務経験のある教員等による授業内容							